

■INAPとは

1 友好提携港国際ネットワーク

(International Network of Affiliated Ports) :

平成10年11月設立、創設以降、事務局を高知港が担当

2 会員港(7カ国10港):

高知港(日本)、チッタゴン港(バングラデシュ)、青島港(中国)
タンジュンペラ港(インドネシア)、木浦新港、唐津港(韓国)
スービック湾港・セブ港・ダバオ港(フィリピン)、コロンボ港(スリランカ)

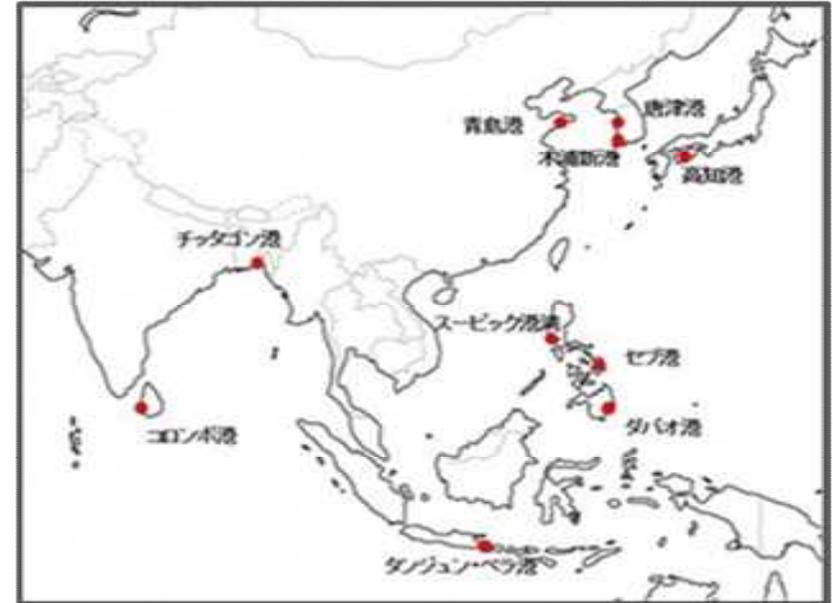
※下線は創立時からのメンバー

3 目的:

会員港間の情報交換及び交流を深めると共に、経済・文化的つながりの強化を図る。
(会員港の属する国や地域との海外取引の拡大を促進)

4 活動内容:

- ・会員港が持ち回りでINAP会議を開催し、港湾事業や貿易に関する情報交換を実施
R元年の青島港まで、計21回開催
R2年の唐津港での会議は、コロナ禍のため3年連続中止
- ・高知県は、INAP開催に合わせ、開催国に経済ミッション団を派遣



INAP会員港



INAP2019青島(中国)会議

R5年度 INAP2023高知会議概要

1 趣旨

今年度、第22回INAP会議を高知で開催(10年ぶり4回目)

経緯:韓国・唐津港での会議がコロナ禍により令和2年から3年連続で中止となり、本年度の開催も困難であったため、高知港での開催となった。

2 開催時期

令和5年10月17日(火)~18日(水)

3 参加予定者

INAP会員港(不参加港:チッタゴン港(バングラデシュ)、唐津港(韓国)、コロンボ港(スリランカ))、港湾関連企業、荷主企業、貿易関係機関、高知市、県議会議員、高知国際高校の生徒ほか



INAP2013高知会議(高知城)

4 開催概要

●17日 INAP会議 (ザ・クラウンパレス新阪急高知)

総会

- ・事業報告、事業計画、次期開催港

シンポジウム

- ・高知国際高校によるプレゼン
- ・記念撮影
- ・基調講演
「アフターコロナ時代のクルーズ船誘致」
一般社団法人みなと総合研究財団主席研究員 沖田一弘氏
- ・会員港プレゼンテーション テーマ:「アフターコロナの展望」

・レセプション(懇談会)

- ・会員港記念品交換、よさこい踊り など

●18日 経済交流

県内企業視察

- 高知丸高、技研製作所、酔鯨酒造